

活用ナビ

①【ねらい】日本とつながりのある国についてわかり、何を調べるか考える。

② ● **A**と**I**のグラフを読み取りましょう。題をそれぞれ読みましょう。

- **A**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書きましょう。
- **I**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書きましょう。

③ ● 気づいたことを書きましょう。

※一つのグラフから気づいたこと、二つのグラフからいえること、その理由として考えられること等を書かせたい。

④ ● **G**と**H**のグラフを読み取りましょう。題をそれぞれ読みましょう。

- **G**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書きましょう。
- **H**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書きましょう。

⑤ ● 気づいたことを書きましょう。

※③と同様に、一つのグラフから気づいたこと、二つのグラフからいえること、その理由として考えられること等を書かせたい。

⑥ ● **A**から**I**の日本とつながりのある国について、何を調べたらよいでしょうか。

※教科書の「◆調べることの例」も参考にして書かせる。

⑦ ● みんなでつくった学習問題をノートに書きましょう。

※調べたい国も決めるようにする。

6年-20

3-1 日本とつながりの深い国々
日本とつながりのある国

P234~P235

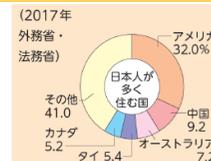
名前

6年 組 番

①【ねらい】日本とつながりのある国についてわかり、何を調べるか考える。

②【基本】**A**と**I**のグラフを読み取る。

- ・題をそれぞれ読もう。
- ・**A**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書こう。
- ・**I**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書こう。



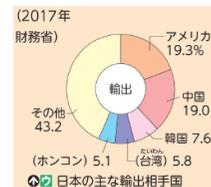
③【ポイント】気づいたことを書こう。

- ・海外で日本人が一番多く住んでいるのはアメリカだ。
- ・日本に住む外国人は中国や韓国など近くの国が多い。
- ・中国はどちらも多く、つながりが深そうだ。



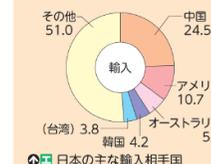
④【基本】**G**と**H**のグラフを読み取る。

- ・題をそれぞれ読もう。
- ・**G**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書こう。
- ・**H**のグラフで割合が大きい5つの国をノートに書こう。



⑤【ポイント】気づいたことを書こう。

- ・輸出相手国も、輸入相手国もアメリカと中国の割合が大きいのでつながりが深そうだ。
- ・韓国もどちらにも出ている。

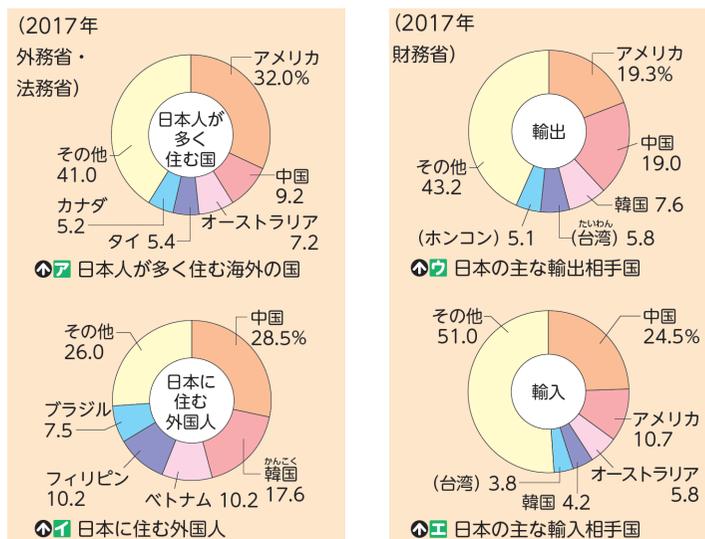


⑥ **A**から**I**のグラフからわかる日本とつながりの深い国について調べるには、何に注目したらよいだろうか。

- ・人々の暮らしの様子
- ・子どもの学校生活
- ・その国の文化や習慣
- ・産業の特色
- ・国土の様子や特色
- ・スポーツを通しての国際交流

⑦ みんなでつくった学習問題をノートに書こう。

資料の読解



①から④の4つの円グラフは、日本人の海外での居住国や滞在する人々の国籍の割合と輸出入量の割合を示したものである。それらの面で関わりが深い国々の上位5か国がこの資料に示されている。

①のグラフでは、海外に住む日本人のうち約3分の1がアメリカということがわかる。日々入ってくる情報も多く、子どもたちにもよく知られている国である。②のグラフでは、アジアの近隣諸国が上位を占めていることがわかる。ブラジルは100年以上前に日本人が移民し、古くからの交流がある国である。③、④のグラフでは、輸出入相手国としてアメリカと中国が大きな割合を占めていることがわかる。他にも、韓国と台湾が共に輸出入の上位国になっている。これらの国々は、訪日観光客数も多い国や地域でもある。このような点を子どもたちにも読み取らせたい。

読解の方法

- ここではそれぞれの項目で、どの国が上位を占めているかつかまさせることが大切である。そこで、題を確認したのち、上位5か国をノートに書かせる。その際、関連が深い①と②、③と④を一緒に扱うようにする。
- そのうえで、気づいたことを書かせる。この場合には一つのグラフから気づいたことでも、二つのグラフから考えたことでも構わない。また、考えたことの意味も発表させることで、グラフの見方も深めるようにさせたい。
- 本時は単元の1時間目なので、これから調べたい内容について考えさせる。その際、教科書の「やってみよう」の「◆調べることの例」を参考にさせたい。また、調べる対象の国については、学級の状況に応じて決めるようにする。
- (3)の内容を踏まえ、日本とつながりの深い国の人々の暮らしを学習していくことを共通の学習問題として取り組むことを確認する。